

以下、本文-----

小児アトピー性皮膚炎の治療経過に関与する因子の研究

1. 研究の対象

2013年1月から2017年3月末までに高知大学医学部小児思春期医学教室アレルギー外来をアトピー性皮膚炎のために初めて受診したお子さん。

2. 研究目的・方法

アトピー性皮膚炎は、不均一な疾患であり多くの異なるタイプが存在します。そこで、その実態を調査し、治療に難渋する因子を探ることを目的とし、学会・研究会で公表します。方法は、診療録から情報収集し、背景と寛解の有無の関係を比較します。研究期間は倫理委員会承認日から2023年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録から情報収集します。受診時の重症度とその後の経過。正確な重症度の記載がない場合は、診療録から推定します。また、ペット飼育、絨毯や布製ソファ、ふとん掃除機掛けまたは高密度繊維カバーの使用などのダニに関する環境の問診事項、家庭で薬物療法を正確に行えているかどうかに関する事項、血液検査で特異的IgE値、出生時在胎週数・体重、食物アレルギー・気管支喘息の合併、同胞の数、とくに双胎などの情報、母子家庭、父子家庭など育児に関わる情報、両親のアトピー性皮膚炎歴、心理・ストレス環境などを収集します。

ただし、後方視的研究であり、不明な点は不明とする。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知県南国市岡豊町小蓮

088-880-2355

高知大学医学部小児思春期医学教室 大石 拓

研究責任者：

高知大学医学部小児思春期医学教室 大石 拓

-----以上